



由井二小だより第3号

地域運営学校

八王子市立由井第二小学校

「一体感のある運動会」

校長 古井 進

5月23日の運動会には、たくさんの保護者や地域の方々にご参観いただきありがとうございました。私はとても良い運動会であったと思いますし、先生方もみんなそう言っていました。特に今年度、他校から転入された先生からは、「一体感のある運動会だった。」という言葉が聞きました。「どういうことですか?」と聞くと、2つのことを感じたそうです。

一つは、「子どもどうしのつながり」です。特に本校の特色である異学年とのつながりです。今まで見てきた学校の運動会では高学年も低学年も自分たちの競技や演技に精一杯で、他の学年の競技や演技を見ることは見るが、一緒になって盛り上げたり、ものすごく応援することはあまりなかったそうです。しかし、由井第二小学校の運動会では、まずは低学年が椅子を校庭に出すときには、6年生が何人もの低学年の椅子を出すのを手伝うことから始まり、これから走る他の学年の子の名前を呼んで「がんばれ。」と声をかけたり、低学年のダンスを高学年が自分の席で踊ったり、高学年の騎馬戦には、こちらが驚くくらい全力で応援したり、演技が終わって通りかかった子に手を差し伸べ、ハイタッチをしたりと、いろいろな学年の子どもたちが、いろいろな時に、いろいろな場所で互いに声を掛け合い、よく関わり合っていたということです。「こんな一体感のある運動会は初めてだ。」とある先生は言っていました。また、由井第二小学校から転出していった先生も「何か違うんだよね。由井二の運動会は。」と言っていました。

もう一つは、学校と学校に関係する人たちとのつながりです。保護者が大勢来てくれたこと、本校から転出した先生がこれもまた大勢来てくれたこと、地域の方々もたくさんの方が来てくれて、最後まで見てくれていたこと、近くの子育て支援センターの子供たちに、近くの高齢者の施設からも毎年来てくれます。それから、卒業生もたくさんいました。さらに、今年は『由井二っ子音頭』にたくさんの方が参加してくれました。さらに保護者のサポート隊の方々による見回り、片付けにも当たり前のように多くの方が積極的に動いてくれて、あっという間に校庭が片付いてしまいました。このように本当に多くの学校に関係する方々が集まり、思い思いに運動会を楽しみ、そして支えてくれていることも「一体感のある運動会」と感じる要因であるようです。

私はそんな運動会を全力でつくってきた本校の子どもたちと先生方に本当に感謝しています。閉会式でも、運動会後の全校朝会でも感謝の言葉を言いましたが、これで3回目になります。伝えたいです。「ありがとうございました。」

令和8年度 運動会特集 ～全校で一致団結!勝利へ向かえ～

子どもたちが力いっぱい取り組んだ運動会。子どもたちのがんばりを紹介します。

【応援団】 みんなの士気を高め、運動会を盛り上げた応援団!

応援団担当

4年生から6年生の有志が集まった応援団。全校の気持ちを一つにまとめる大きな役割を果たしました。毎日練習を積み重ね、自信をもって大きな声を出せるようになりました。また、赤組と白組と一緒に踊った応援団のダンスでは、動きやタイミングを何度も確認し合い、お互いに声をかけながら進める姿が印象的でした。

当日の応援合戦では、団旗が大きく力強くはためく中、赤組も白組も息の合った応援コールとダンスで盛り上げ、全校児童の士気を高めました。競技が始まると、仲間の真剣な勝負に自然と声が大きくなり、児童席全体が一体となりました。応援団の中で学年を越えたつながりが生まれ、団員一人ひとりが自信をもって役割を果たす姿は、とても頼もしいものでした。



【リレー】 白熱した紅白リレー

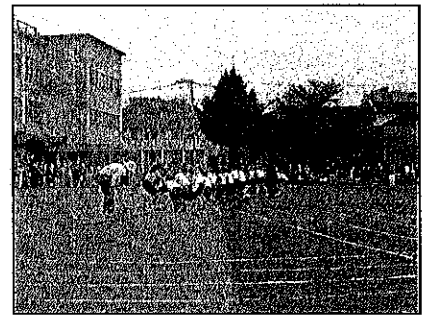
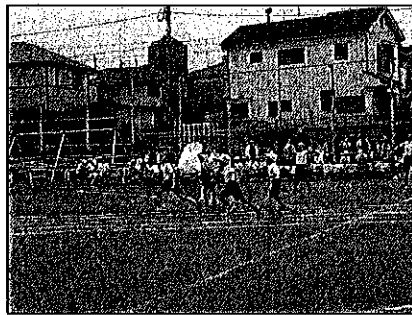
リレー担当

3~6年生によるリレーは、学年の枠をこえて力を合わせた、まさに“チームの走り”が光る種目となりました。各チームは話し合いを重ね、自分たちにとって最も力を発揮できる走順を決定。高学年が下級生を支えながら意見をまとめていく姿に、頼もしさが感じられました。本番に向けての練習にも熱が入り、休み時間はもちろん、給食の準備時間でさえ校庭にはバトンを持った子どもたちの姿がありました。何度も確認し合ったバトンパスは本番でも見事に成功し、どのチームもファールなしでつなぐことができました。周りの大きな声援で声が届かず、バトンパスの時にランナー同士がぶつかるハプニングもありましたが、子どもたちはすぐに立ち上がり、最後まで走り抜きました。その姿に、観客席からは大きな拍手が送られました。仲間を信じてバトンをつなぎ切った経験は、子どもたちにとって大きな自信となったはずでした。

【1・2年】「50m 走」「きりり★7」characters」(ダンス・玉入れ)**2 年担任**

1・2年生による運動会の合同種目は、子どもたちの“初めて”と“個性”がたっぷり詰まった、あたたかい時間になりました。1年生にとっては初めての運動会。50m 走では、緊張しながらもゴールをめざして一生懸命に走る姿が印象的でした。まっすぐ伸びる小さな背中に、応援席から大きな声援が送られました。ダンスでは、緑黄色社会の「キャラクター」に合わせて元気いっぱい踊りました。全体でそろえるかわいらしい振り付けの中に、自分だけのオリジナルダンスを取り入れ、さらにお気に入りのTシャツを着て表現することで、それぞれの個性が輝きました。また、1年生が踊っている間に2年生が玉入れを行い、2年生のダンス中には1年生が玉入れをするという工夫もあり、会場は終始にぎやか。かごをめがけて玉を投げる姿にも、子どもたちの“個性豊かな戦い”が見られました。

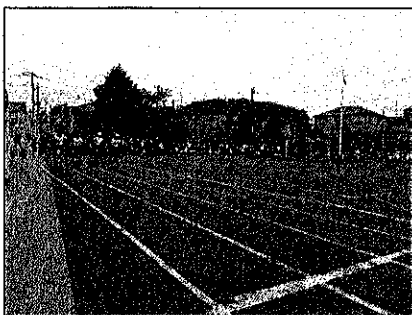
最後は、元気いっぱいやりきった「キャラクター」に、観客から大きな拍手が送られました。子どもたちの成長と笑顔が光る、素敵な演技となりました。

**【3・4年】「80m 走」「ブルーウェーブシャイン」(ダンス・綱引き)****4 年担任**

3・4年生は、元気いっぱい運動会へ臨みました。80m 走では、3年生にとって初めての曲走路。スタート前には緊張した表情も見られましたが、ピストルの合図とともに勢よく飛び出し、カーブを上手に走り抜ける姿に成長を感じました。最後まで全力で走り切ろうとする姿に、会場から大きな拍手が送られました。

表現種目では、ヒップホップダンスをベースにした力強くかっこいいダンスを披露しました。リズムに合わせて大きく体を動かし、息の合った動きで観客を引き込みました。全員でウェーブをつくる場面では、会場から「すごい!」「かっこいい!」という声が上がりました。一人一人の気持ちがつながった素晴らしい技となりました。

ダンス後の綱引きでは、1回戦目は白組が力強く引き切って勝利。サイドチェンジしてからの2回戦目、はじめは白組が優勢でしたが、赤組が最後まであきらめずに踏ん張り、少しずつ巻き返しました。そして、仲間と声を掛け合いながら力を合わせ、見事逆転。1対1で引き分けという、ドラマティックな展開となりました。

**【5・6年】「100m 走」「団結～百花繚乱～」(騎馬戦・ソーラン節)****6 年担任**

運動会の大きな見どころとなった5・6年生の騎馬戦とソーラン節。高学年として学校を引っ張る子どもたちは、本番まで仲間と励まし合いながら練習に取り組んできました。騎馬戦では、仲間と息を合わせて全力で戦う姿が見られました。個人戦でも団体戦でも「最後まであきらめない」という強い気持ちで立ち向かう姿は、とても頼もしく感じられました。一人一人の姿から、全力で取り組んだからこそその成長が伝わってきました。続くソーラン節では、大きな掛け声と力強い動きが会場いっぱい響き渡りました。腰を低く落とした動きや、一糸乱れぬ隊形移動には、これまで積み重ねてきた努力が表れていました。運動会実行委員を中心に休み時間にも自主的に練習する姿や、仲間どうしてお互いに教え合う姿も多く見られ、高学年としての自覚が大きく育っていると感じました。仲間と心をつなげ、支え合いながら最後までやり遂げた5・6年生。その真剣な姿は、下級生にとって憧れの存在となりました。運動会を通して得た達成感や仲間との絆を、これからの学校生活にもつなげて活躍できることと思います。

子どもたちは仲間と励まし合いながら、どの競技にも全力で挑みました。力を出し切った表情や、応援に熱くなる姿から、学年を超えた絆が深まったことが伝わってきます。勝ち負けだけでなく、最後までやり抜く気持ちや協力する大切さを学んだ一日でした。この経験を、これからの学校生活にも生かしていきます。

